



2016年3月期 第2四半期 決算概要

2015年11月10日

バンドー化学株式会社

I. 会社概要

II. 2016年3月期 第2四半期 決算概要

III. 2016年3月期 業績予想

I . 会社概要

会社基本情報

社名	バンドー化学株式会社(証券コード:5195)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
代表者	代表取締役社長 吉井 満隆
設立	1906年4月(明治39年4月)
資本金	10,951百万円(2015年9月30日現在)

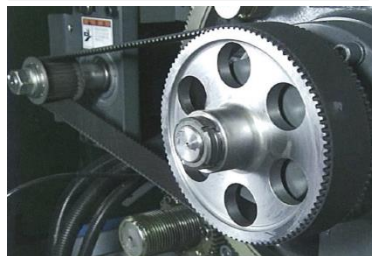
ベルト事業

自動車分野



●自動車用補機駆動ベルト ●オートテンショナ

産業機械分野



農業用機械分野



搬送分野



エラストマー製品事業

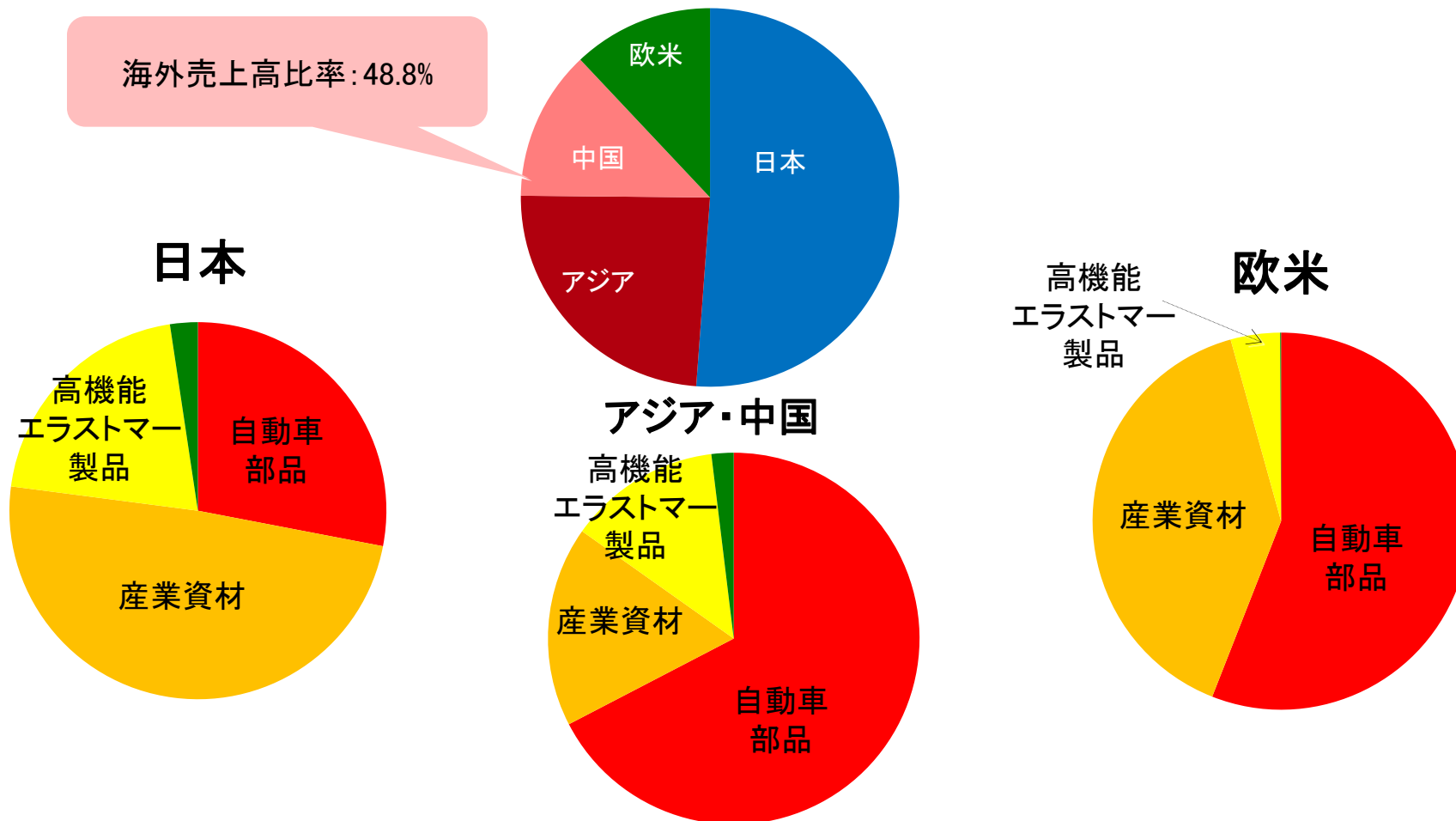


●精密機能部品製品 (左:クリーニングブレード 右:高性能ローラ) ●機能フィルム製品

■ 事業構成（所在地別・製品別売上高）

所在地別売上高構成比率

海外売上高比率：48.8%



■ 世界でのベルト事業(自動車部品・産業資材)の占める割合は81.8%。

Ⅱ. 2016年3月期 第2四半期 決算概要

■ 2016年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(百万円)

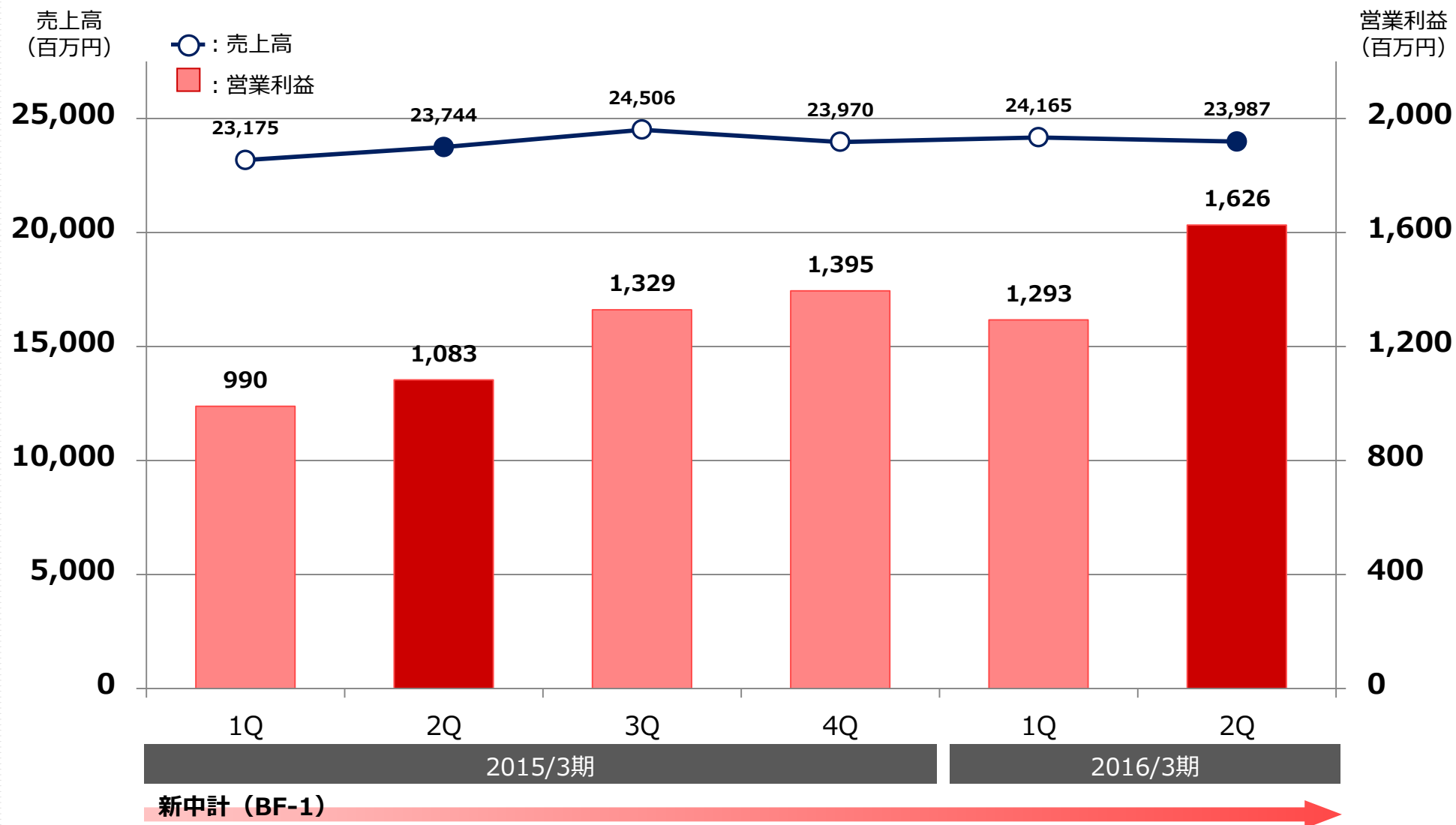
	2014/9	2015/9			
	実績	実績	前年同期比	事前予想	事前予想比
売上高	46,919	48,152	+1,232	50,000	△1,847
営業利益	2,073	2,919	+845	2,900	+19
経常利益	2,556	3,491	+935	3,500	△8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,922	2,592	+670	2,200	+392
営業利益率	4.4%	6.1%	+1.6%	5.8%	+0.3%

※事前予想: 2015年5月15日公表の連結業績予想。

- 前年同期比では増収増益。業績予想に対しては、売上高は未達となるも、営業利益は予想通りの結果になった。

- 自動車部品事業は、中国、アジアおよび日本の生産台数の低迷により、前年同期比で、販売が減少した。スクーター用変速ベルトを手掛けるベトナム、インドにおいては、販売が大きく伸長し、インドにおける生産が本格的に開始した。
- 産業資材事業は、一般産業用伝動ベルト製品が、米国、アジアの堅調な設備需要と中国の農業機械購入補助金の再開により、前年同期比で販売が増加した。
- エラストマー製品事業は、機能フィルム製品の販売が減少するも、OA機器メーカー向け精密ベルトや高機能ローラ、樹脂製品が好調に推移し、前年同期比で販売が増加した。
- 各地生産拠点の原価低減活動の徹底や海外生産拠点の増強が軌道に乗ってきたことなどにより、前年同期比で、営業利益が増加した。

■ 四半期推移(売上高/営業利益)



■ 2016年3月期 第2四半期 事業セグメント別業績

BANDO

(百万円)

	2014/9	2015/9			
	実績	実績	前年同期比 増減額	業績予想値	業績予想値 差額
売 上 高	46,919	48,152	+1,232	50,000	△1,847
ベルト事業	38,704	39,419	+715		
エラストマー製品事業	7,716	7,861	+144		
そ の 他	980	1,335	+354		
セグメント間消去	△482	△463	+18		
営 業 利 益	2,073	2,919	+845	2,900	+19
ベルト事業	1,740	2,657	+917		
エラストマー製品事業	61	330	+268		
そ の 他	126	157	+31		
調 整 額	145	△225	△371		

■ (参考)2016年3月期 第2四半期 変更後事業セグメント別業績

(百万円)

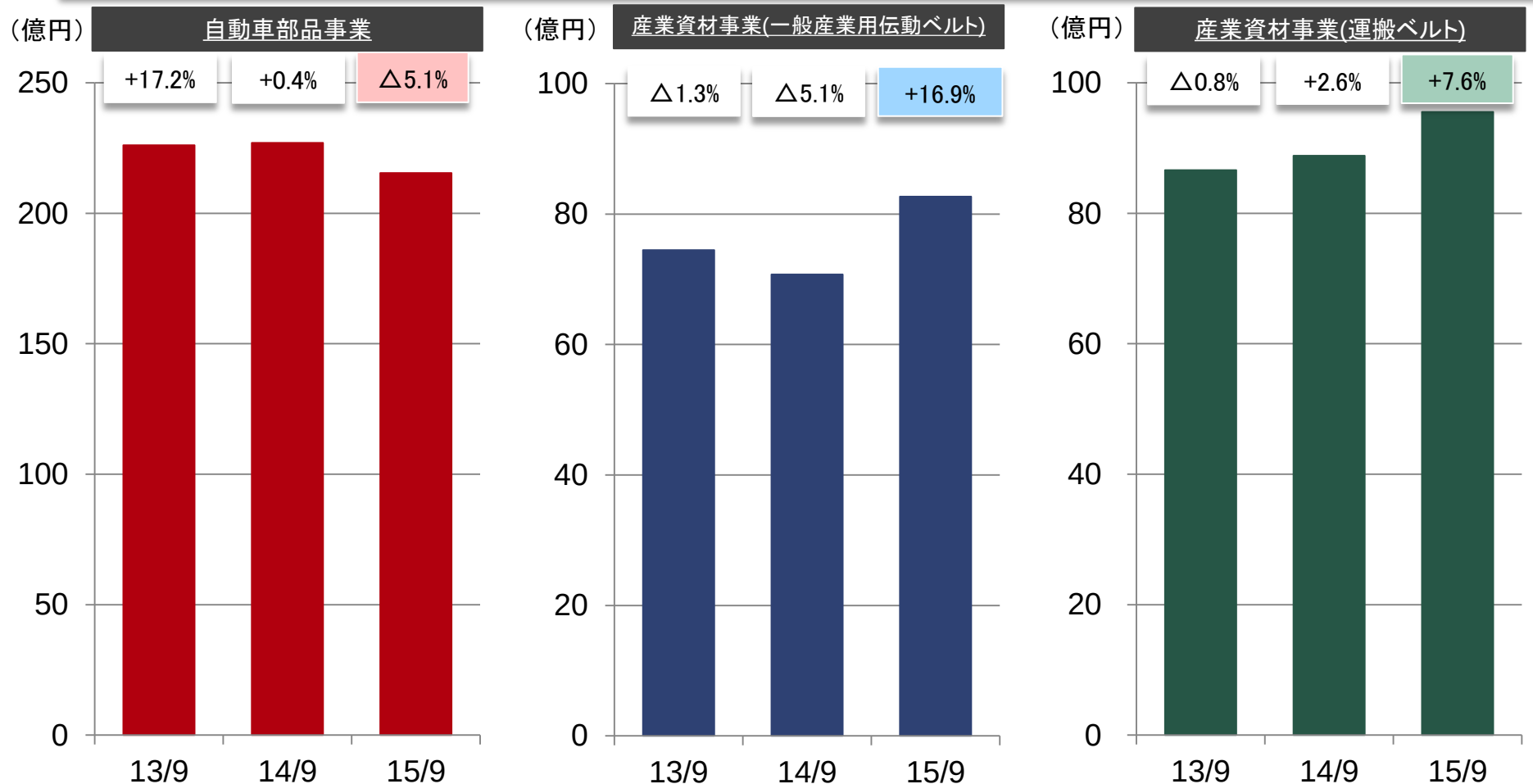
	売上高	営業利益
自動車部品事業	21,593	1,551
産業資材事業	17,852	1,106
高機能エラストマー製品事業	7,861	330
その他	1,335	157
セグメント間消去	△490	△225
合計	48,152	2,919

当第1四半期連結会計期間より、上記区分に変更しておりますが、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えることが実務上困難であることから、変更前の前年同期の数値と比較しております。

ベルト事業 売上高推移

売上高: +715百万円 前年同期比: +1.8%

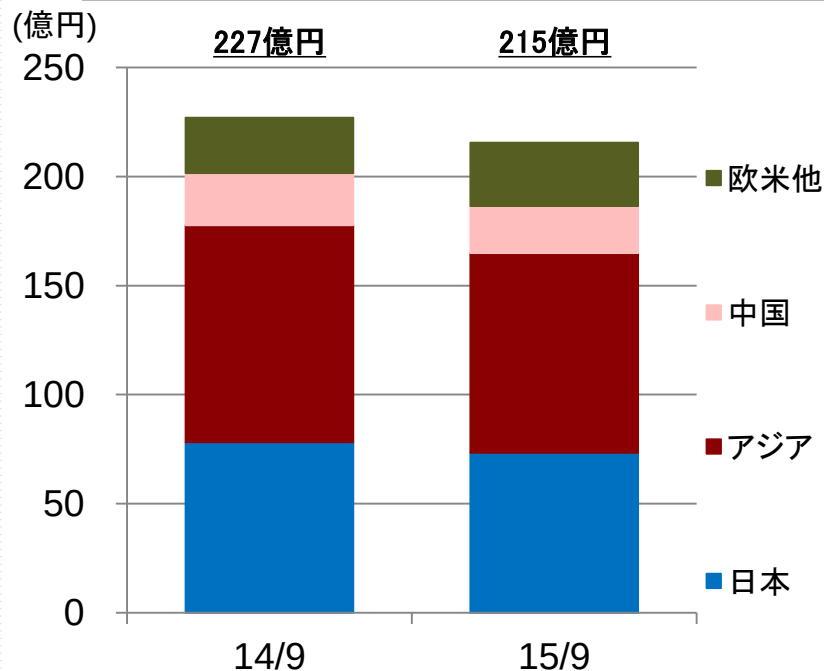
✓ 産業資材事業の売上が伸長し、前年同期比で増加。



(注)上記売上高はセグメント間取引消去後。

自動車部品事業 概要

所在地別売上高



欧米他
(+13.8%)

- 米国と欧州における生産台数は引き続き好調に推移。トルコは補修、OEMとも販売増加。

中国
(△9.8%)

- 新車販売の不振による主要顧客の減産の影響により販売が減少。

アジア
(△7.9%)

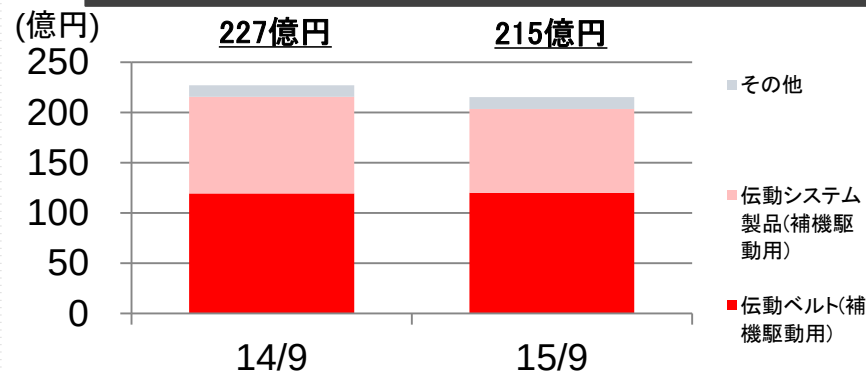
- 韓国にて当社部品搭載車種の販売が減少。
- 二輪車用伝動ベルトは、インドやベトナムでスクーター用変速ベルト等の販売が増加。

日本
(△6.1%)

- 軽自動車税の引き上げ前の駆け込み需要の反動などにより低迷。ベルト非装着車種の増加の影響から販売が減少。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高

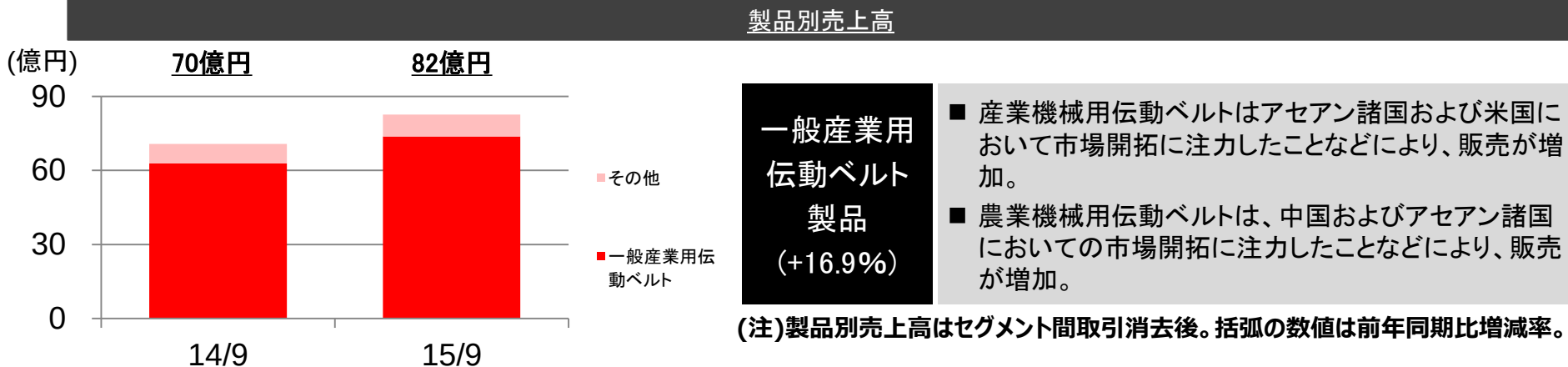
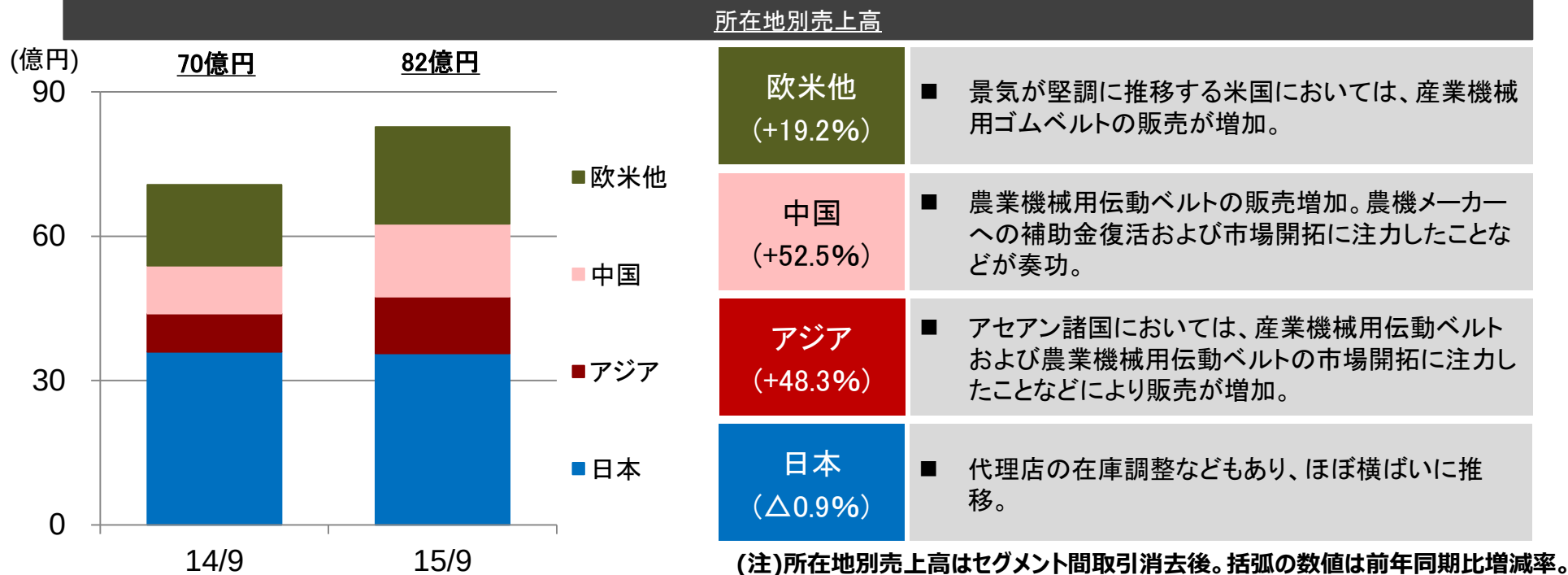


自動車
部品
(△5.1%)

- 伝動ベルト
自動車用ベルトの販売が減少するも、二輪車用ベルト等の伸長により前年同期比横ばい。
- 伝動システム製品
主要顧客のモデルチェンジおよび中国市場における減産の影響等により販売が減少。

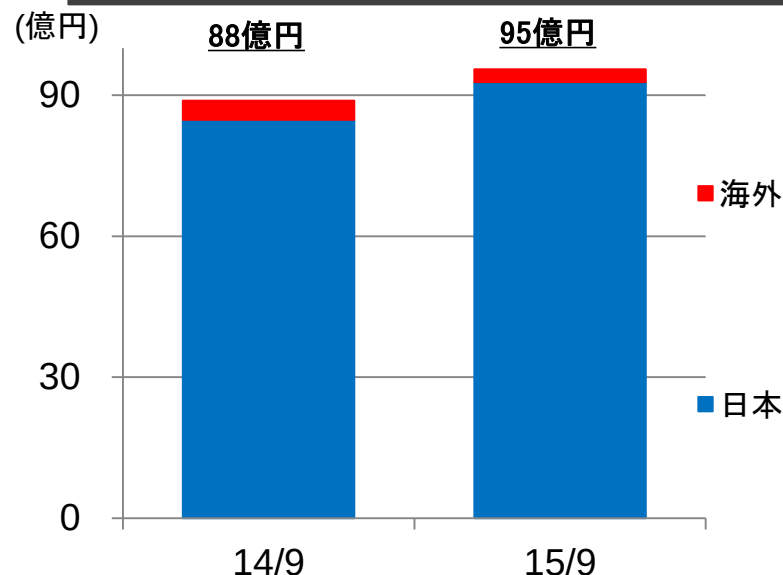
(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

産業資材事業 概要(一般産業用伝動ベルト製品) **BANDO**



産業資材事業 概要(運搬ベルト)

所在地別売上高



海外
(△32.5%)

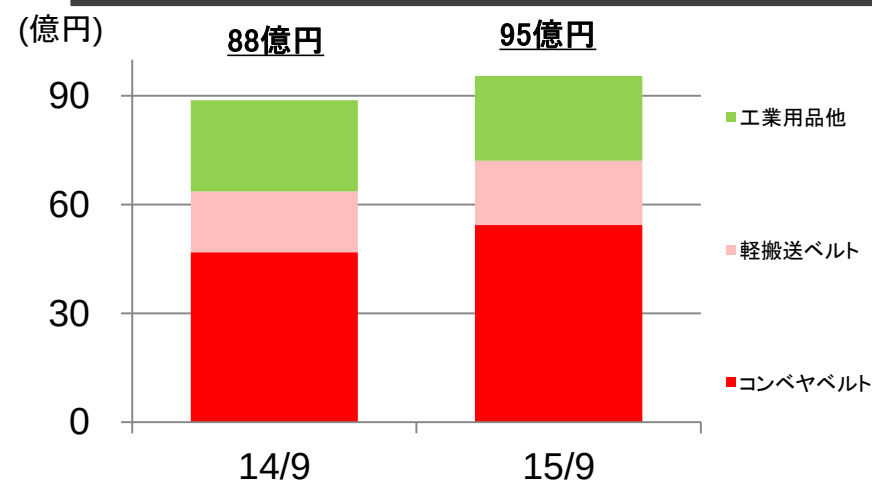
- 中国やアセアン諸国において、コンベヤベルトおよび軽搬送ベルトの販売が減少。

日本
(+9.5%)

- 急傾斜搬送用コンベヤベルトの販売が増加。
- 軽搬送ベルトの販売が増加。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高



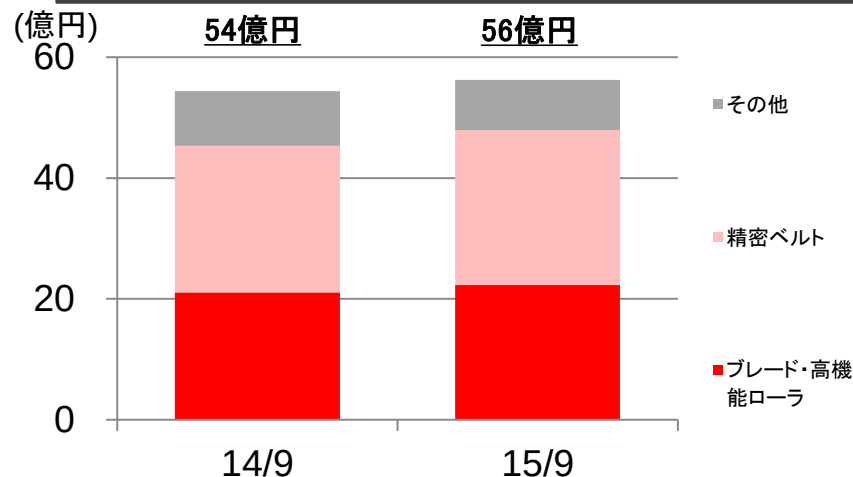
運搬ベルト
(+7.6%)

- 資源開発用コンベヤベルトの輸出は減少したが、国内の急傾斜搬送用コンベヤベルトの販売が増加。
- 軽搬送ベルトは、物流・食品分野への拡販に継続して注力したことから販売が増加。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

高機能エラストマー製品事業 概要

精密機能部品 製品別売上高

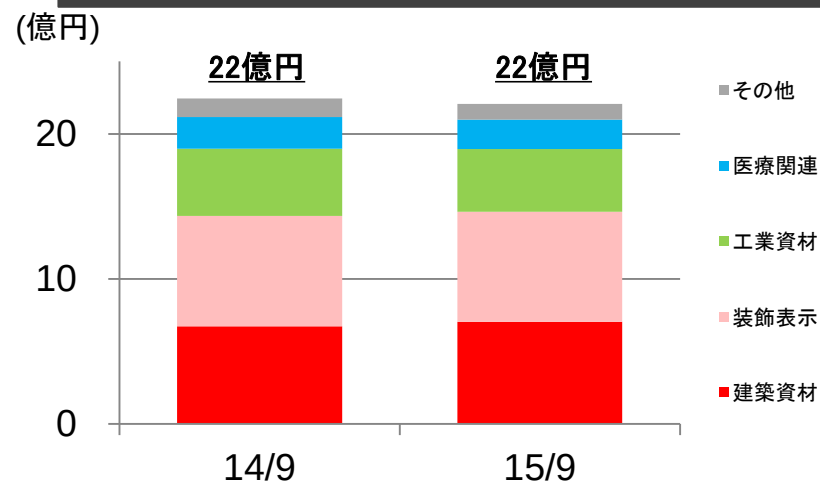


精密機能
部品
(+3.4%)

■ 精密機能部品においては、OA機器などで使用される精密ベルト、高機能ローラや樹脂製品などの販売が増加。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

機能フィルム 製品別売上高

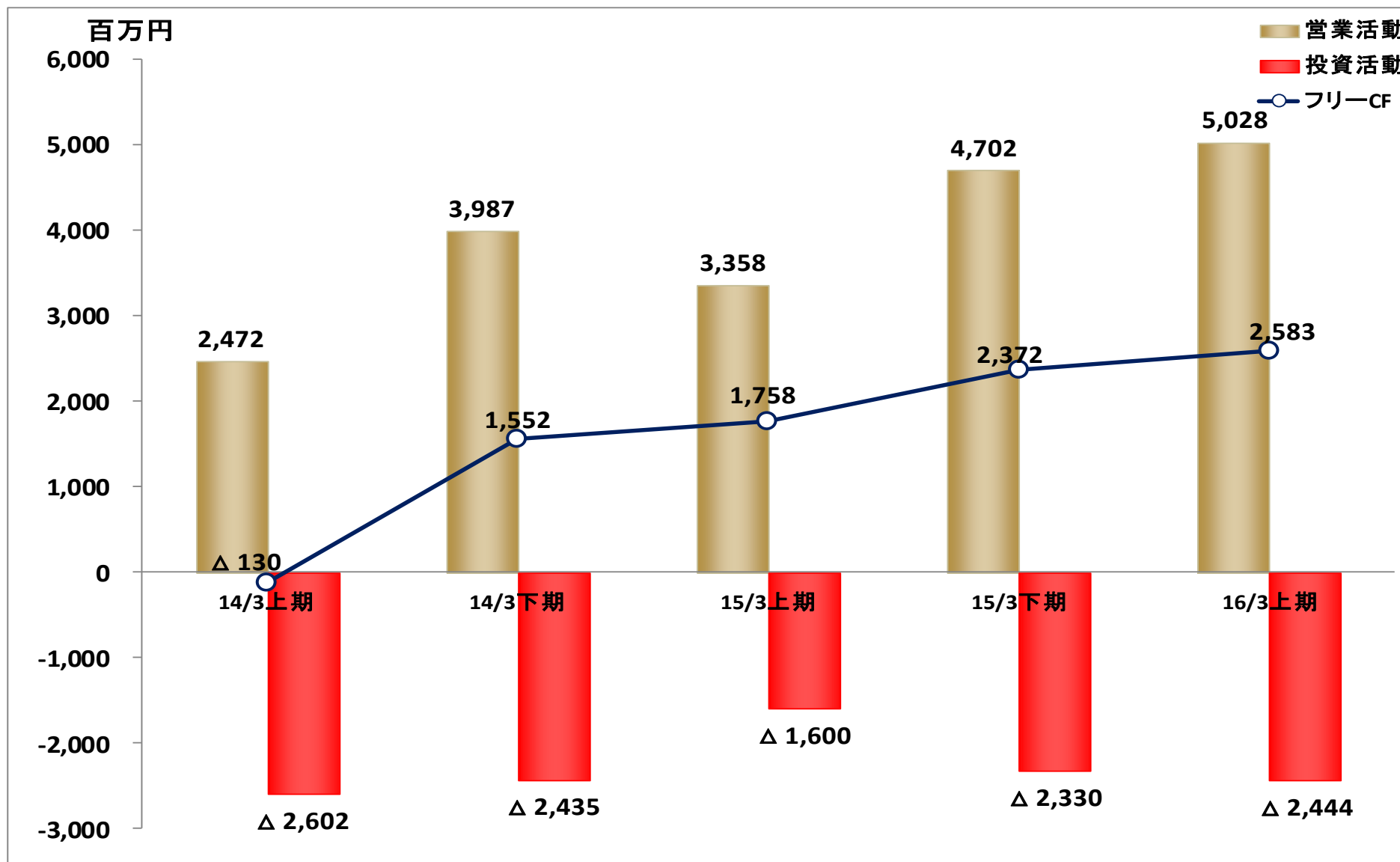


機能
フィルム
(△1.7%)

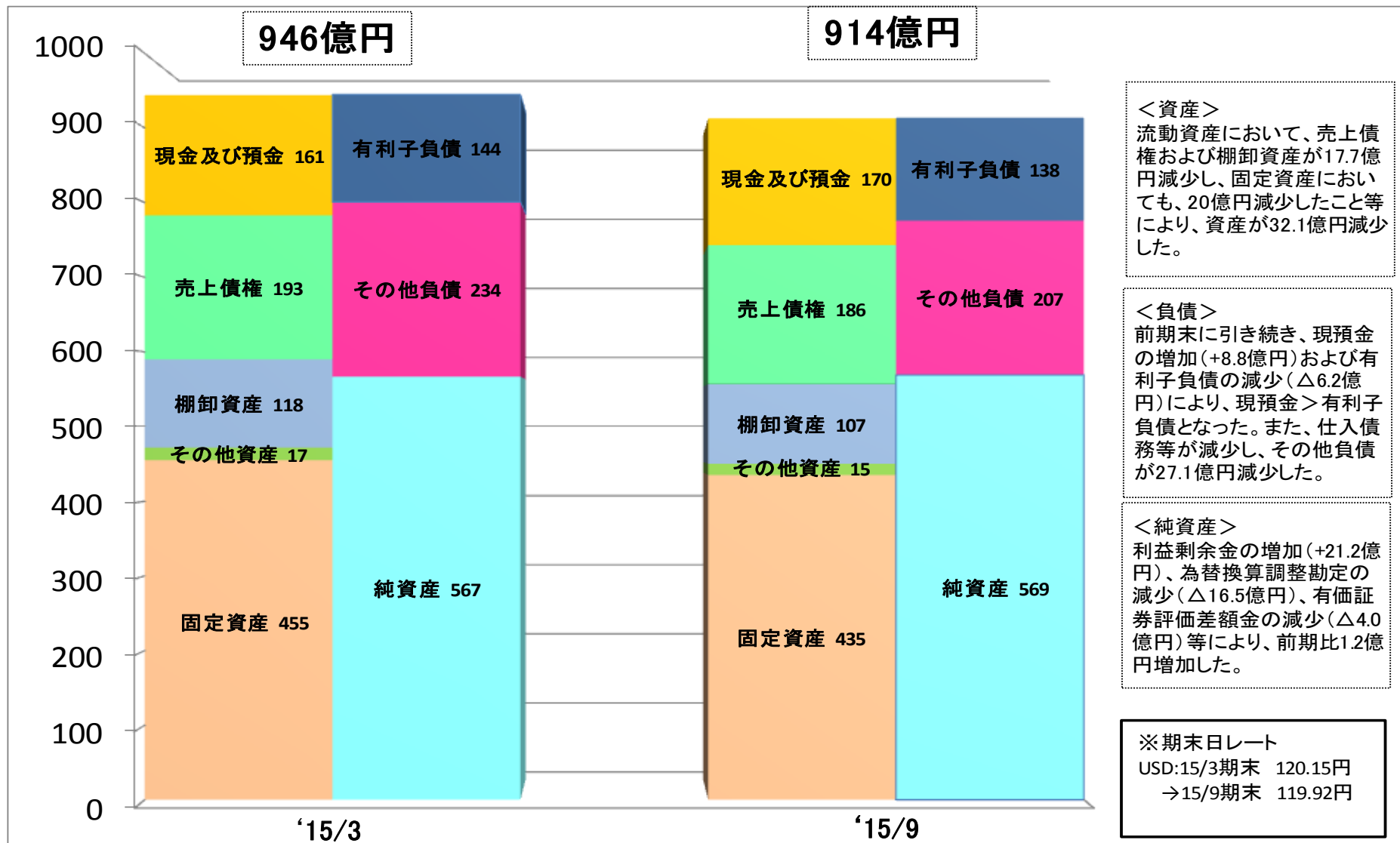
■ 機能フィルム製品においては、市況などの回復が遅く、横ばいで推移。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

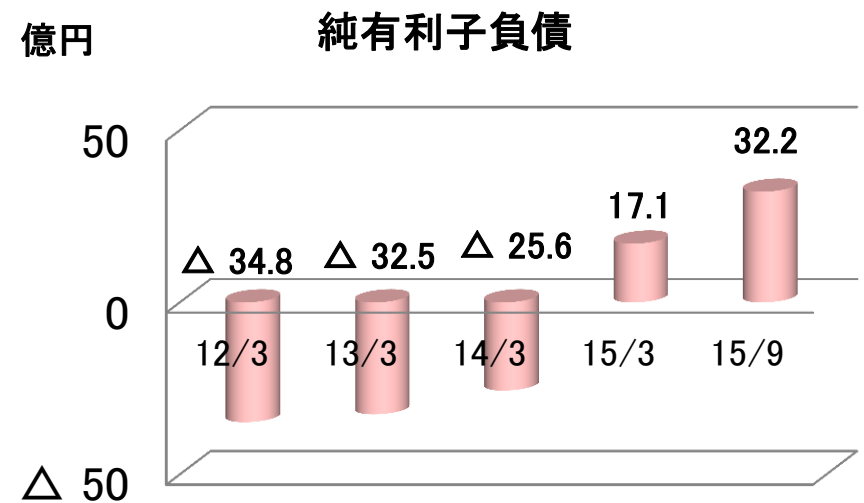
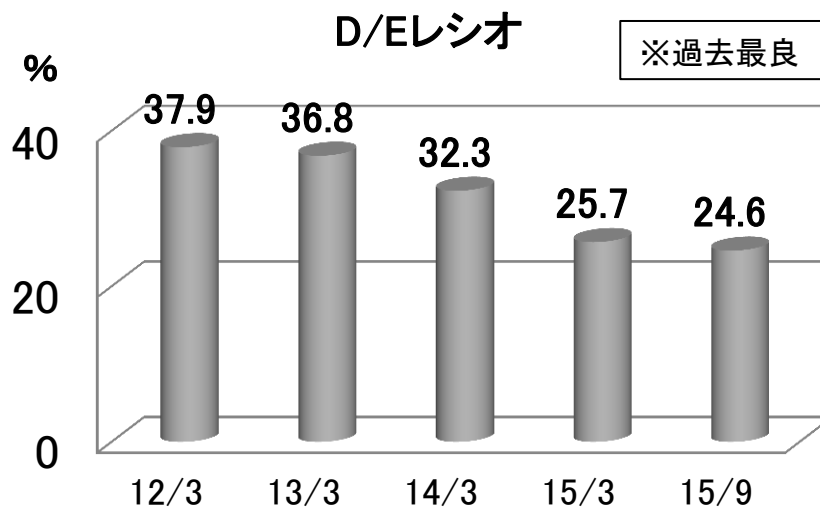
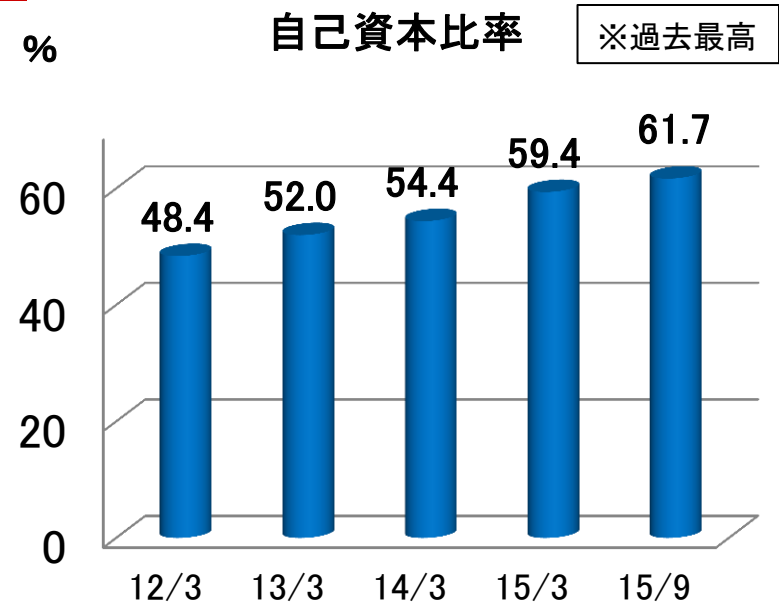
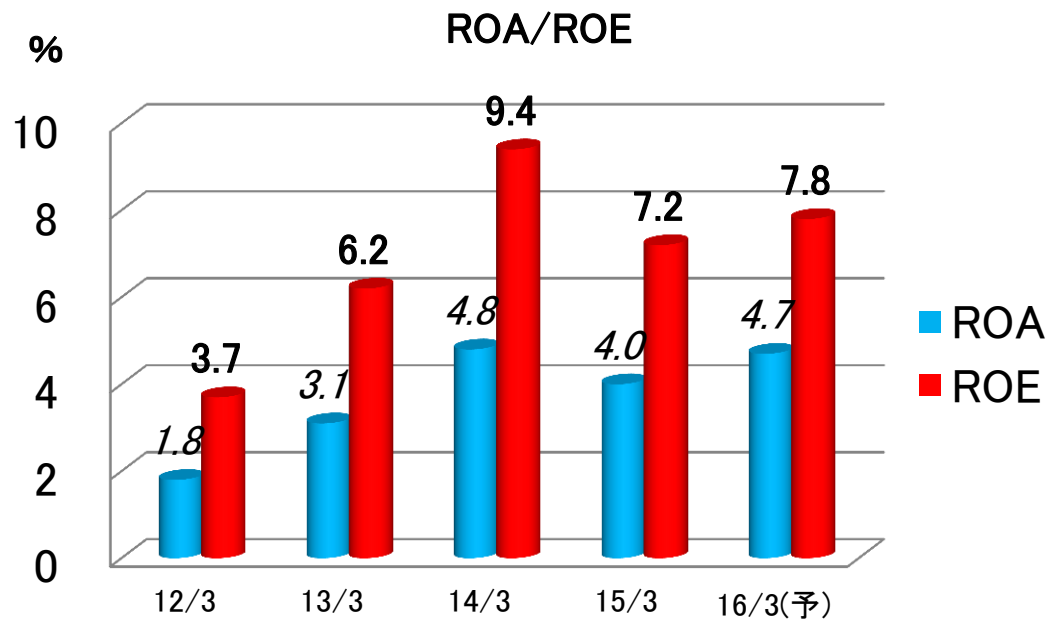
■ キャッシュフローの推移



連結貸借対照表



財務指標



Ⅲ. 2016年3月期 業績予想

■ 2016年3月期 業績予想

(百万円、%)

	2014/3	2015/3		2016/3 予想	
	実績	実績		前年同期比	
売上高	93,434	95,395	95,000	△395	△0.4%
営業利益	5,517	4,797	5,800	1,002	+20.9%
経常利益	6,103	5,730	6,800	1,069	+18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,280	3,758	4,500	741	+19.7%

販売面

- 当第2四半期連結累計期間の業績と中国をはじめアジア全般の成長鈍化による先行き不透明感を踏まえ、売上高の通期業績予想を修正いたします。

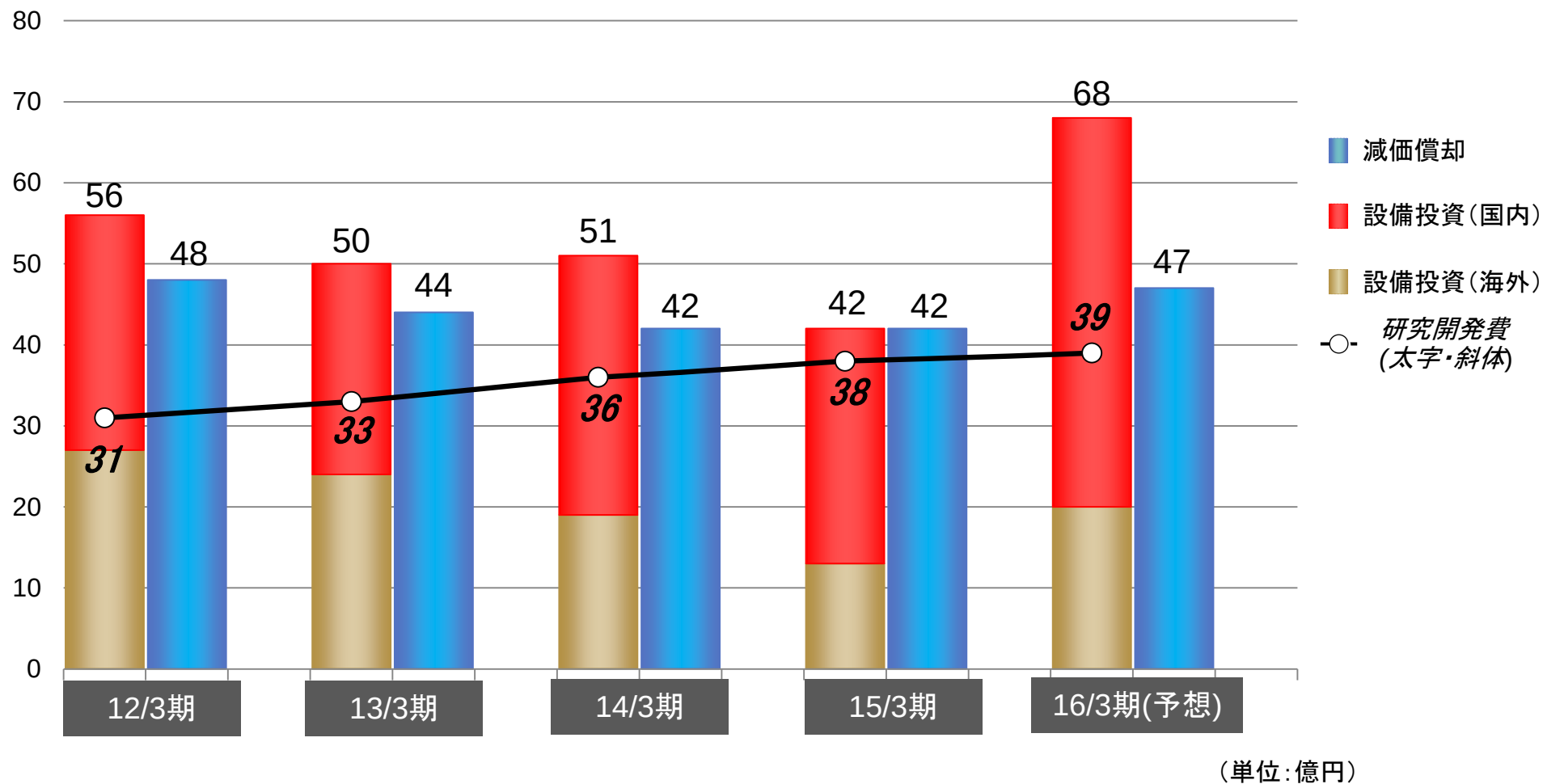
利益面

- 売上高は減少見込となりますが、上期での原価低減活動の徹底や海外生産拠点の増強を引き続き推進し、利益改善を図ります。

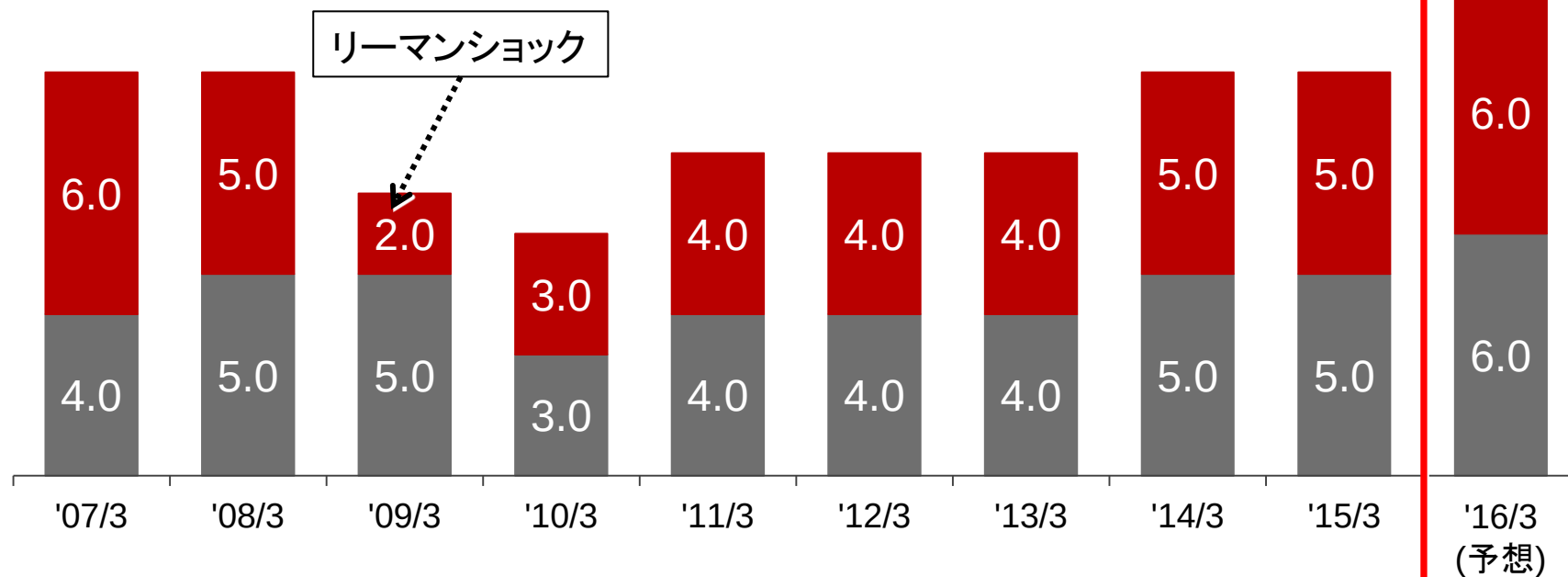
為替

- 想定レート・・・1USD=120円、1EUR=130円、1人民元=20円

■ 設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移



株主配当の推移



配当性向	25.4%	19.0%	—	48.7%	23.7%	53.9%	30.2%	22.0%	25.0%	25.1%
------	-------	-------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------